

# さくら貝

逗子市桜山5-32-1 電話 046-873-8011 FAX 046-872-2519 info@zushi-shakyo.com

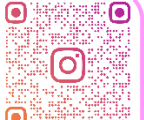
社協HP  
はこちら  
→



社協Instagramはこちら→

FOLLOW US !!

ユーザーネーム: zushi.shakyo  
ハッシュタグ: #逗子市社会福祉協議会



## 今月の数字

この数字は何でしょう?

# 20

正解は、裏面の【イベント・講座・催し】欄「福祉教育セミナー」記事の中にあります!



## 社協の事業紹介

### 福祉教育

『ふくし=ふだんの 暮らしの しあわせ』

「福祉」とは、特別な人のものでなく、一人一人の暮らしやすさや、みんなが幸せになるための仕組みです。社協では、みんなで「福祉」を考えること、みんなで「福祉」に向けた取り組みを行うことを、学校を含む地域の場において実施しています。

### 市立小中学校では

様々な人との関わりや、触れ合いを通じた学び、また多様性への理解等について授業で伝えています。令和4年度は、障がい当事者の方やボランティア、地域の方などにご協力いただき、全校合わせて、29回の福祉授業を行いました。様々な方が、学校の場で生徒と共に学び合う仕組みも福祉教育の一つです。

### 地域活動では

現在、有志による「地域活動プロジェクト」を組織し、地域生活の中での、人とのつながりや、困った時に声をかけ合える関係性づくりに向けた検討を行っています。例えば、逗子7丁目地域に焦点を当てた活動では、住民アンケート、地域交流会、オリジナル掲示板づくり、防災カフェ等を開催してきました。

地域に暮らす方々が「福祉」を意識し、取組に参加し、必要な活動をつくっていく過程や、その過程で人・地域への福祉の啓発や学びを意図的に仕掛けていくことも福祉教育として行っています。



【逗子7丁目防災カフェ】(9/30 開催しました)  
ハザードマップを拡げながら緊急避難場所の確認や、最近の非常食の試食をして盛り上がりました。  
またこのような情報共有の機会の必要性を確認しました。



【オリジナル掲示板】



## ★社協クイズ★

福祉会館1階ロビーには、『絵本コーナー』が設置されており、福祉教育「絵本・アートプロジェクト」が選書した絵本が並んでいます。ここには、何冊の絵本が並んでいるでしょうか。

- ①50冊 ②32冊 ③20冊
- 答えは裏面をチェック!

## 福祉教育の1コマ



～事業にかかわる人たちの物語～



学校での福祉授業に、視覚障がい当事者として、毎年ご協力いただいている、荒木俊彦さん。(社協の福祉教育検討メンバーです)

荒木さんは、対話形式の授業で、普段の生活のことや、「みんなは色が違う色鉛筆だよ」と、みんな違って当たり前であること、また「自分の得意やできることを周りの人とシェアリングしていこう」ということを伝えています。

街中では、子どもたちから声をかけられ、自然と並んで歩くことも多いそう。またその姿を見た大人から声をかけられることも増えてきたそうです。荒木さんは、逗子の「あたりまえの風景」の輪が、子どもたちから広がっていることを実感されていました。

## 社協会員になってみんなで応援! あなたの社協会費が、逗子の福祉を支えます!

社協会費は地域福祉を推進する貴重な財源となります。逗子の地域福祉増進のため、引き続きご協力賜りたく、なにとぞよろしくお願いいたします。

個人会員: 年間 1口 500円 団体・団体賛助会員: 年間 1口 5,000円

会費の納入方法: 郵便でのお振込や福祉会館などで受け付けています。

※郵便振替口座番号: 00280-7-60555

# イベント・講座・催し

問合せ ☎873-8011

## おれんじカフェずし（認知症カフェ） ＜予約制☎872-2480＞

日時：12月、1月は毎週金曜日  
14～16時  
場所：逗子4丁目個人宅 / 100円  
対象：認知症の人とご家族、  
認知症予防に関心のある方

## 逗子家族会 ＜予約制☎872-2480＞

日時：12月8日(金)・1月12日(金)  
14～16時  
場所：逗子4丁目個人宅 / 100円  
対象：認知症の人を介護している、  
していた家族

## 弁護士相談 ＜予約制＞

日時：12月22日(金)・1月26日(金)  
14～16時  
場所：福祉会館 / 無料  
対象：日常生活に不安を持つ、障がいのある方やご高齢の方

## 成年後見相談 ＜予約制＞

日時：12月27日(水)・1月24日(水)  
14～16時  
場所：福祉会館 / 無料  
対象：成年後見制度について知りたい方

## 「地域支え合い学習会」 ＜予約制＞ ひきこもりの8050問題を考える ～家族・地域にできること～

日時：12月11日(月)  
13時30分～16時  
場所：佛乘院（小坪4-26-3）  
内容：①講演会 丸山康彦氏  
（不登校・ひきこもり相談室  
「ヒューマン・スタジオ」代表）  
②語らいカフェ  
参加費：500円(カフェ代として)  
対象：どなたでも / 先着20名

## 第20回福祉教育セミナー ＜予約制＞ 「『私たちのまち逗子』における 福祉教育の展望」

日時：12月27日(水)  
10時～16時30分  
場所：市民交流センター / 無料  
内容：①パネルトーク  
②基調講演 原田正樹氏  
（日本福祉大学 学長）  
③グループワーク  
対象：どなたでも  
定員：60名(会場)、20名(ワライ)  
どちらも先着順  
\*要約筆記・手話通訳 申込締切 12/15

車椅子バスケットボール体験 15分入れ  
替え制です  
日時：12月9日(土)  
10時～11時30分  
場所：逗子アリーナ（逗子市立体育館）  
\*＜当日受付＞「ふれあいフェス in ずし  
2023」イベント内のプログラムです。

## 「家族のための介護教室」＜予約制＞

介助・オムツ・福祉用具・認知症を  
テーマとした専門職のお話と介護の  
悩みを話し合う交流会です。  
日時：2月3・10・17日、3月2日  
全て土曜日 10～12時  
場所：福祉会館 / 無料  
対象：どなたでも / 先着20名

## お知らせ

- 社協の団体会員・団体賛助会員に  
ご加入いただいた団体等の情報は  
社協HPに記載しています。
- 逗子社協ご寄付の窓口「あゆむ銀行」  
ご寄託誠にありがとうございます  
受領期間9月・10月（順不同・敬称略）  
○寄託金 18件 330,283円  
仲町橋食堂実行委員会、（一社）神  
奈川県タクシー協会、匿名16件

- 年末たすけあい募金〔12月1日～  
12月31日〕に、ご協力お願  
いします！  
年末たすけあい募金は、全額逗子  
市内の地域福祉のために活用されま  
す。JR逗子駅とヨークマートでの  
街頭募金（12/1～8）やお住まい  
の地域の協力員さんがご自宅へ訪問  
させていただきますので、  
その際にはご協力を  
お願いします。



## ～ピックアップニュース～

## ふくしのしんぶん「広報紙さくら貝」

皆さまにお読みいただいている逗子市社会福祉協議会の『広報紙さくら貝』は、2カ月に1度、約3,500部を発行しています。逗子市役所、福祉会館、その他公共施設に掲示・配架してあるほか、自治会やボランティア団体、団体会員などには直接お届けしています。

本紙は、就労継続支援B型事業所カモミール（逗子4丁目）に、紙折り、封入、封緘、配達（一部）の作業を依頼しています。

今後も、逗子の『ふくしの新聞』として皆様にご協力いただきながら、魅力的な記事を発信できればと考えていますので、よろしく願いいたします。

～カモミールでの作業風景～



## ★社協クイズの答え★

正解は32冊です。これらは、絵本・アートプロジェクトが、福祉に関するテーマの軸である「インクルージョン」につながる「そのまま」「多様性」「想像性」といったキーワードで選書しました。32冊の絵本は、プロジェクトが作成した『絵本リスト』（右記）に掲載していますので、興味のある方はお問い合わせください。また現在、「絵本リスト-増補版-」を作成中です。



次回さくら貝（213号）は令和6年2月1日発行です（隔月発行）  
広報誌さくら貝は、「逗子市役所高齢介護課前社協掲示板」「福祉会館」  
その他市内公共施設でも入手できます♪  
「さくら貝」<音声版>は逗子市社会福祉協議会ホームページにも掲載しています。



さくら貝音声版  
QRコード